



東村山稲門会ニュース 第231号

ホームページ <http://higashimurayama-waseda.jp/>

平成 28 年 6 月 4 日発行
発行責任者：當間 昭治
編集者：當摩 照夫
042-396-3033

創立20周年記念イベント

「第54回本庄～早稲田100キロハイク」を応援



初夏を思わせるような日差しの5月22日（日曜日）、11時半から14時まで多摩湖自転車道の美住陸橋下において、東村山稲門会創立20周年を記念するイベントとして、母校後輩たちの100キロハイクの応援を行いました。体調を崩された小山さんを除く応援準備委員会の若手会員3名はじめ広報委員や先輩方が駆けつけてくれました。またご子息が当ハイクに参加されているという武蔵村山市在住のご家族4名も仲間入りしていただきました。

今回の応援活動は『伝統ある100キロハイクで東村山を通過する後輩たちを応援したい』の強い思を抱く若手会員4名に岡田副会長を加えた応援準備委員会が企画に当たりました。皆が仕事を持ちながらの活動であり全員が顔を揃えることは困難でしたが、4回の準備会を持ちました。2年生時に当ハイクの参加経験がある山本優香さんの企画案や、デザイン企画に秀でた小山友希さんのミニチラシ案と広報委員会案による2種の完歩祈願チラシの作成、応援企画周知策を練り、描いた企画案を滞りなく進めることができました。開催前日には「東村山稲門会」の名入りだいじょぶだぁ饅頭1個に当市の公式キャラクター「ひがっしー」プリントの市制情報チラシと「完歩は目前」を謳う稲門会夏の催事紹介との2種のミニチラシ封入の250セットを、さらに熱中症予防用の塩飴2個入り550セットの封入作業を行い、応援用の小旗やうちわを用意しました。

当日は応援ブース周辺の「早稲田大学校友会」のぼり旗掲揚が整った11時半に岡田さんの開会挨拶と準備委

員3名が紹介されて、それぞれの応援態勢に着きました。準備委員の川口さんはwasedaのロゴ入りユニフォームを着て応援に駆けつけてくれました。先頭集団の通過予想時間に反し、なかなか顔を見せないのを心配して数人が自転車で確認に出向く場面もありました。

正午を回った直後に20名程度の先頭集団が姿を現しました。疲れた表情の学生達の顔色が、私たちの存在に気づくと途端にパッと明るくなり、次々に手渡されるだいじょぶだぁ饅頭に歓声を上げて通り過ぎていきました。

「うわーまんじゅうありがてー」「なにこれ、ひがっしー、超かわいい!!」「ゴールしたら食べます、マジ、ありがとうございます」などとの感謝の言葉も聞かれました。12時40分には250セットの饅頭配布が終了しました。続く集団数が次第に増え、また矢継ぎ早に通り過ぎるために、次の塩飴を配る作業は大変でした。13時5分には塩飴袋の配布も完了しましたが小旗等による応援は予定通り14時まで続けました。応援に気がついて「紺碧の空」を皆で歌いながらハイタッチで駆け抜けていく集団や、疲労困憊しながらも必死の思いで頭を下げながら歩く学生もいました。一方応援参加者からは「若い学生たちから元気をもらった」、「時代は違っても同じ早稲田の仲間に出会えて嬉しかった」等の感想をいただきました。初めての企画であり、全てが手探りの中で行われました。私達の活動として今後どのような形にして行くのかを、これからも検討して参りたいと考えます。なお、ワンコイン募金に41,356円の多額が寄せられ、饅頭の配布数量を増やす事が出来ました。参加いただいた会員皆様に厚く御礼申し上げます。（秋山 剛 記）

100キロハイク応援参加者（敬称略）：赤荻、秋山、出田、岡田、川口、倉田、小亀、同夫人、小菅、小林（俊）、高橋（正）、高柳（剛）、滝川（桜）、田代、土橋、當間、野村（茂）、町田、三宅、山本（岩）、山本（優）、吉田（劭）

創立20周年 第21回総会を28年11月19日に開催

記念すべき創立20周年記念、第21回総会は28年11月19日(土)午後2時より、東村山駅西口ワンズタワー2階のコンベンションホールで開催することが決定しました。今回の総会では、会長以下役員人事の改選が大きな議事の一つです。今後30年40年を見据えた稲門会のあり方を考える機会でもあります。会員の皆様、是非当日を予定に組み入れていただき、出席をお願いします。尚、詳細につきましては、決まり次第ニュースでお知らせします。

会からのお知らせ

○ 平成28年7月定例役員会

日時 7月9日(土) 14:00～16:30
場所 市民センター 第2会議室

○ 新入会員

田中 清二さん 昭和33年 商学部卒
〒189-0026 東村山市多摩湖町4-28-33
(野中昭夫さんの紹介により入会して頂ました。)

きたはら ひろゆき
北原 啓行さん 平成12年 商学部卒
〒189-0001 東村山市秋津町5-37-57
(今年の第二次募集活動により入会して頂きました。)

○ 他稲門会関係

5月15日(日)

町田稲門会総会 : 當間会長、大内副会長

6月5日(日)

武蔵野稲門会総会 : 山本副会長、三宅顧問

6月5日(日)

国分寺稲門会総会 : 當間会長、池田副会長、大内副会長
吉田副会長

6月12日(日)

西東京稲門会総会 : 大内副会長、滝川副会長、山本副会長

6月19日(日)

東大和稲門会総会 : 當間会長、岡田副会長

6月25日(土)

代議員会 : 阿部幹事、大内副会長、山本副会長

7月2日(土)

商議委員会 : 當間会長、岡田副会長

○ 電話番号の訂正

木野 友博さん 042-397-4722
森本 吏さん 042-394-9967
何れも2015年11月発行の会員名簿の電話番号が誤りです。

○ 大学関連ニュース

2015年卒業式・2016年度入学式を挙

2016年3月24日、25日、26日に2015年度卒業式が行われました。今回は、新記念会堂(仮称)新築工事のため、大隈記念講堂他にて各学部、学校、大学院ごとに行われました。

卒業者は学部9,312名、芸術学校44名、大学院修士課程修了者2,070名、大学院専門課程修了者614名、博士学位受領者212名の合計12,245名が新たな門出を迎えました。そのうち727名が海外からの留学生です。

一方、桜も満開となった4月1日、2日、3日、には2016年度の各学部・大学院・芸術学校の入学式が、大隈記念講堂で行われました。学部入学者は9,412名、大学院入学者は2,905名で、2015年9月の学部・大学院の入学者877名を合わせると4月1日現在の1年生総数は13,203名になり、このうち1,474名が海外からの留学生で、11.2%を占めており、世界各地から数多くの優秀な人材が、早稲田の杜集まりました。

(小亀 輝雄 記)

○ 書道同好会新設及び会員募集のご案内

書は生涯独りでも楽しむことが出来ます。関心のある方はご参加下さい。

- 初心者の方 : 筆遣い等基本からお教えいたします。
- 上手になりたい方 : 競書に参加することで励みになります。(但し同人月刊誌購入が必要です。)
- 書を楽しみたい方 : 自分の好みの手本を持ち込み参加者と楽しい時が過ぎます。

※希望されれば添削いたします。

<持参を要する物>

書道用具一式(墨・硯・筆・下敷・文鎮 等)

※半紙は用意しますので使用する分を実費でお支払いいただきます。

——ご希望の方は下記宛ご連絡下さい——

大森平八郎

TEL 042-391-0535

〒189-0012 東村山市萩山町2-23-12



〈4月～6月生まれ合同お誕生会の報告〉

幹事 滝川 桜子・紅松 容子・崎山 裕子



東京大学教授等の研究によると、4月から6月生まれの児童・生徒は相対的に成績が良いとの結果が出ているそうです。また、昨年のJリーグ登録選手の中では、4月から6月生まれが1番多いという別の調査結果があります。その当該月生まれの会員をお祝いする「お誕生会」が、5月7日(土)17時より、恒例の「丸藤」で開催されました。お誕生者22名を含む合計30名が出席、池田副会長の開会挨拶に続く、倉田幹事の乾杯の発声を皮切りに、美酒佳肴を楽しみながら懇談に入りました。ベテラン会員が多数を占める中、まだ30歳代の北原啓行さん(平12年商)と川口雅史さん(平19法)の二人が、ひととき異彩を放っていました。5月に入会したばかりの北原さんからは「皆様のような素晴らしい先輩になりたい。」と謙虚なお言葉を、川口雅史さんからは「会の催しになかなか参加できないが、5月22日の早稲田100キロハイクの応援活動に参加する。」との頼もしい挨拶を頂きました。一方、ベテランからは、手術・治療・持病・健康診断等の健康に関わる話題が多く、老々介護等の御苦労話も披露されました。各々の健康状態により、趣味としてのウォーキング・テニス・ゴルフ・囲碁・家庭菜園等や脳トレを通じて健康保持や増進に取り組んでいることにも触れられ、一同、関心を持って聞き入っていました。また、小亀前会長の「来年も是非会いたい!」と力強い一言が印象的でした。井垣さんと井原さんの指揮のもと、全員で「東村山稲門会の歌」と「早稲田大学校歌」を熱唱し、紅松幹事の軽妙な司会・進行で盛上がったお誕生会はお開きになりました。本会の円滑な運営にご尽力頂いた、滝川副会長と崎山祐子さんに感謝します。

出席者(誕生日順)(敬称略)

(4月生まれ): 吉澤 勇、當間 昭治、山本 岩男、松澤 宏、川口 雅史、土橋 雄次、成田 延雄、小菅 宏、石井 久長、富澤 文雄

(5月生まれ): 赤荻 洋一、吉田 勝、森本 史、滝川 桜子、深瀬 聡

(6月生まれ): 風間 和夫、大内 一男、北原 啓行、野村 茂樹、塩田 典男、井原 徹、田口 政澄

(お祝いした方): 井垣 和太、池田 孝、倉田 哲也、紅松 容子、小亀 輝雄、崎山 裕子、南湖 修一、吉田 劭文
(吉田 劭文 記)

第1回 東村山稲門会

多摩湖町わいわいおしゃべり会 開催の報告



4月24日 第1回「多摩湖町わいわいおしゃべり会」を多摩湖ふれあいセンターで催しました。稲門会に3名の多摩湖町の新会員も参加された事もあり、ご近所の多摩湖町内でももっと親睦を深めようと企画したものです。

第1回として、多摩湖町在住であり、会員でもある早稲田大学教授・千葉俊二さんに「谷崎潤一郎との出会い」と題してお話いただきました。明治・大正・昭和の3代にわたってエロチシズムと伝統美とを体現した谷崎ワールドを熱く語っていただきました。初期の代表作『刺青』を中心に、時代が賢明さを増していったとき、「愚」という思想に固執した谷崎文学の神髄を学びました。

そのあと、お茶、ビールを飲みながら、参加者11名の自己紹介とご講演の感想・質問などをしました。今回の会がきっかけとなり、野中さんの紹介で多摩湖町4人目の新入会員として田中さん(33年商)が入会されました。また當間昭治会長(久米川)、滝川桜子副会長(萩山)も飛入りで参加頂きました。予定時間を超過する楽しい会になりました。

第2回を10月に計画しており、会員の体験や趣味など二人くらいの方にリレートークを予定しております。あまり会員の負担にならず、オープンなモットーに会を運営していきます。

参加者 (敬称略)

野中昭夫(昭32商)、田中清二(商33商)、高部素行(昭35理工)、倉田哲也(昭36理工)、
滝川桜子(昭40文)、黒田祐司(昭41商)、當間昭治(昭43法)、戸田志郎(昭43法)、
千葉俊二(昭47文)、荒巻優之(昭51法)、坂田道子(昭57文)

【千葉俊二さん】

1947年宮城県生まれ、横浜で育つ。1972年早稲田大学第一文学部国文科卒業、同大学院修了。山梨英和短期大学助教授を経て、早大教授。谷崎潤一郎の研究者

お笑い芸人の小島よしおと作家の綿矢りさは早大で千葉ゼミに所属していた。

NHK クローズアップ現代『谷崎潤一郎の恋文～文豪が買いた意志～』(2015年1月7日放送)に出演。

特別企画 創立20周年リレー随筆 4

稲門会の思い出

東村山稲門会 第3代会長 三宅 良太（昭36商）
平成18年11月1日～平成20年10月31日会長在任



今年（平成28年）11月に東村山稲門会が創立20周年を迎えることになり、現當間昭治会長をはじめ幹事会員皆様のご尽力ご協力により、隆隆と運営、活発に活動されており、誠に慶ばしい限りに存じます。

平成8年11月設立に先立ち、一年余前から十人余りの有志が準備の協議に参加し設立総会にこぎつけたこと等回想にふけております。発足時にご尽力された方々として、水野要氏（当時市役所勤務、現在富山県滑川市に在住）、上幸雄氏（平成7年東村山市長選に立候補、僅差で及ばず。その後日本トイレ協会を主宰）、木谷肇氏（その後発病され、夫人の献身的な看病により生還）等多数の方々のお顔が思い浮かびます。

発足の時点で「稲門会ニュース」を毎月発行することが決まり、当初塩見之一氏（故人）に大層ご苦勞をおかけし、その後中村眞弓さん（残念乍ら平成27年早世）が編集に八年間近く美事にご担当いただいたこと、そして経費節減の為、各町毎にポストマンを募集し、会員各戸に配布することになり、小生も第一号発行以来美住町を担当し、その後、井手巖氏（故人）、田島隆夫氏、吉田勲文氏のご協力をいただいて現在も続けております。

その後ニュースに加えて「稲門会会報」を年一回発行することになり、幹事の高鷲近氏、岡田一郎氏（現副会長、商議員）のご尽力により発行されたこと、そして同好会も各種立ち上げられ現在も引き続き活発に楽しく活動されております。

小生は園芸の会を藤澤博恭氏（元アサヒビール副社長、東洋らん協会会長）と相談し立ち上げ、「日本さくらそう」、「さぎそう」等の品評会を當間邸（現会長）の前庭で賑々しく催したのも楽しい思い出であります。その他郷土史の会を立ち上げ、関連の講演を聞いたり等致しました。

次に雑学講座を会員と市民の方々にも参加いただき開催することになり、色々な分野の講師による講演やコンサートの企画を一時小生が担当し、盛況に実施出来ました。現在も年間の開催回数を減らして継続しております。

会員のお誕生日会を山下元会長の発案で毎月開くことになり、当初當間現会長が担当、その後は芦田均氏（故人）、南湖修一氏等に引き継ぎ現在も続けられています。会全体の行事としては新年会、お花見会、納涼会、総会懇親会、忘年会等と目白押しで楽しく盛会裡に催されました。第二代の人格見識の立派な山下邦康元会長からバトンを引き継ぎ小生が第三代目をお引き受けすることになり、思い出としては東村山市との姉妹都市の柏崎稲門会と現地柏崎で旅行同好会（風間和夫氏幹事）が交流出来たこと等々。大学本部とは代議員会、商議員会等で交流、近隣稲門会とも総会等の行事に来賓として交歓。設立十周年の記念総会には山下元会長、井原徹氏（元大学理事）のご尽力により、同窓のボニージャックスの公演を中央公民館ホールにて盛大に催すことが出来ました。

会長在任一期二年間ではありましたが、皆様のご協力により、無事大過なく役目を果たすことが出来、改めて、様に感謝申し上げます。

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

囲碁同好会

世話人

福田 晃 TEL 042-394-0593

高鷲 近



平成28年4月23日（土）、第32回東村山稲門会囲碁同好会の春季大会が午後1時より、市民センター別館第6会議室にて開催された。残念ながら、今回は会員の体調不良や都合によって参加人数が少なく、寂しい大会となってしまった。

参加者（敬称略）：（A組）福田、堀田、田代、高橋 （B組）江藤、塩田、中川

A組は2勝1敗で3名（福田、堀田、高橋）が同率となり、アミダクジにより、堀田さんが優勝。
B組は、中川さんが優勝。

○ 次回の秋季大会には多くの方の参加を期待しています。

○ 次回の例会： 6月18日（土）市民センター第6会議室にて、午後1時より

旅行同好会



「稲門会旅行に参加して」

八木 勝利

先ずもって東村山稲門会の皆様、創立 20 周年おめでとうございます。旅行同好会の高橋さんより声をかけていただき、兵庫より参加いたしました。

5 月 17 日(火)、朝から雨、午前 8 時、東村山駅東ロロターリーに集合、出発。生憎の雨で兵庫の稲門は雨野郎かとも思いました。

関越自動車道所沢 IC → 上里 SA。それまでの車中にて、高速に入れば遠方から参加の八木に近況を話せとの指名がありました。東村山で在籍中に参加しておりました同好会、稲酔句会、園芸の会、カラオケの会、ウォーキングの会、旅行会等について話しました。それが故郷でも立派に趣味として生活の潤いの中心として成立しており、つきあわせていただいた諸先輩・諸兄は思い出深く、その上感謝している旨話しました。

北アルプス山系を左前方に眺めつつ、上信越自動車道上田 IC から菅平高原に 11 時頃到着。車中での守屋さんの解説によれば、菅平は上田市の北部に広がった地質学上、考古学上極めて重要な場所であり、動植物の宝庫でもある、昭和 6 ～ 7 年にかけての早稲田大学と法政大学のラグビー部の入山が今日の菅平発展の礎となった、とのことでした。

車中から見下ろす濃霧の中にぼんやり浮かぶ高原野菜レタスの畑は幻想的。下車して早稲田大学研修センター（ここで寝泊まり、合宿もできる）やラグビーランド（140 以上ある）の一部を見学、威力敵無き早稲田大学の復活を心中願っておりました。

昼頃には晴れ、12 時過ぎ真田庵に着き、昼食（ほうとうとおはぎの組み合わせは初体験）と紙芝居。次いで上田城、大河ドラマ館へ、真田幸隆から昌幸、信幸、信繁（幸村）兄弟へと続く真田氏三代の足跡。上田城は 1583 年に昌幸が築城、今は本丸、二の丸にあたる所が城址公園になっており、隅櫓や石垣・土塁が残っています。

午後 4 時 30 分頃に別所温泉上松屋に到着。温泉を楽しんだ後、6 時半より宴会。その司会とアレンジは池田さんと阿部さん、ご苦労様でした。

小亀前会長と滝川副会長のハーモニカ伴奏で「こいのぼり」「夏は来ぬ」「故郷」「背比べ」の合唱。その他、演歌あり、ポピュラーあり、ムード音楽ありとなかなかの芸達者揃い。締めは大内さんの掛け声と指揮でお決まりの「早稲田大学校歌」「紺碧の空」「東村山稲門会の歌」。

その後も全員宿泊の一室に集合して二次会、されども八木は温泉でのぬくもりと宴会でのほろ酔いで、自室での仮



寝のつもりがほぼ朝方まで熟睡という不覚を取り参加できませんでした。他にもう一人おられたとか。

翌日 18 日(水)、晴れ、午前 8 時 15 分、フロント前に集合。宿出発前に信州の鎌倉、北向観音、国宝安楽寺八角三重塔、常楽寺を見学。北向観音は南向きの長野善光寺と向き合い、この二つを参拝しないと願いはかなわないと言われます。八角三重塔は一見、四重塔に見えますが三重塔です。

10 時頃上松屋発、信州松代城址（海津城）に立てば、北アルプスが眺められます。象^{ゾウ}山地下壕（政府、現在の NHK、NTT）、その南東に舞鶴山地下壕（昭和天皇・皇后の御座所、現在の宮内省、大本営会議室）、その北東に皆神山地下壕（食料の貯蔵所）、もちろん東京にもこれらの役を果たす施設は存在しましたが、1944 年 11 月～ 1945 年 8 月にかけて約八割が完成し、結局は使用されませんでした。

12 時過ぎに昼食（おぎのや長野店にて釜飯付き料理）、次いで川中島古戦場へ。高橋さんの詳しい解説で、決戦は 6 ～ 7 回行われたとも言われているとのこと。そして千曲川を渡って上越自動車道に入り、小諸懷古園へ。右に佐久平、左に浅間連山を望みながら小諸 IC でおります。

小諸懷古園は小諸城址で、真田氏との決戦では徳川の本陣になりました。「千曲川旅情の詩」にある佐久の草笛は草の葉だと決定的に思い込んでいましたが、吹かれていたのは震えの生じる木の葉でした。音が出れば何でも良いようです。散策中、「雪散るや千曲の川音立ち来たり 白田亜浪」を見つけ、俳句をかじっている者として喜ばしい思いです。

千曲、小諸の旅情を味わい、濁り酒濁れる飲みて草枕しばし慰む、藤村の世界に浸りました。午後 7 時頃、東村山に帰着。結局、晴れ男で終結。東村山稲門会の皆様に祝福を！早稲田大学に栄光を！最後になりましたが、當間会長、旅行会幹事の高橋（正）、青山さん、赤荻さん、吉田勝さんに厚く御礼申し上げます。（八木 勝利 記）

園芸の会

世話人 當摩照夫・彰子
TEL 042-396-3033



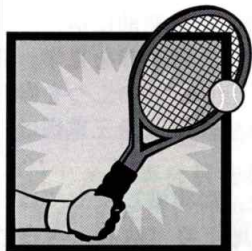
園芸の会は 6 月 17 日(金)にちょうど盛りを迎えるであろう花菖蒲の観賞に、飯田橋近くの小石川後樂園を訪ねます。この庭園は江戸時代初期、水戸光圀の時代に水戸徳川家の上屋敷の庭園として作られたもので、菖蒲だけではなく、回遊式築山泉水庭園で、種々の植物が観賞できるものと思います。

集合は小石川後樂園正面入り口に午前 11 時といたします。交通は地下鉄南北線飯田橋駅出口 C3 から徒歩 3 分、地下鉄東西線、JR 線飯田橋駅からなら徒歩 8 分です。花菖蒲鑑賞を楽しんだ後は、飯田橋駅近くのお店でご苦労さん会を開きます。皆様、ふるってご参加下さい。

テニス同好会

世話人 野村茂樹 TEL 042-393-7036

吉田 劭文 042-397-3293



風薫る 5 月の定例会テニスは爽やかな天候の中で 4 回行いました。西東京稲門会様とテニス交流を行ってから私たちの意識が随分と変わりました。

会員がテニスのレベルアップしなければ勝てないと思うようになってきました。それが 1 カ月の定例テニスの回数増加につながっていると思われます。

5 月 9 日 (月) 運動公園 D コートにて 1 天候は晴れときどき曇り、気温 22℃、と絶好のテニス日和です。

久しぶりに 7 名の参加者が集まり、活気溢れる例会となりました。2 時間の為ウォーミングアップ 10 分、ストローク、サーブに 10 分と身体の部品を暖めておきます。これはテニスに重要な準備運動です。

試合は時間を短縮するために 4 ゲーム先取制とし、7 名で 7 試合が出来ました。(参加者 滝来、田島、當間、野村、山口、吉田 (劭)、吉田勝)

5 月 11 日 (水) 運動公園 E コート、曇天のなか気温 25℃とやや暑い天候でありましたが、今日は 5 名の参加者なので、6 ゲーム先取で行ったが、休む人の待ち時間が長くなる為、4 ゲーム先取に変更して、続行しました。今日はミスの少ない試合と内容の濃い試合が出来た様に思われます。やはり例会の回数が増えた事でゲーム運びやコースの狙いどころなど進歩しています。

(参加者 黒田、田島、野村、山口、吉田 (劭))

5 月 16 日 (月) は天候は晴れですが、涼しく、気温も 20℃と、今日も絶好の天気の中で行なわれました。久しぶりに柳泉園のクレイコートで行いましたが、転圧不足でコートの土が浮き、イレギュラーバウンドに悩まされました。

しかし今日はしばらく休んでいた石塚さんが来てくれました。健康が回復してテニスが出来る様になったそうで、良かったです。3 年のブランクを感じさせない、ナイスプレーで十分試合に対応していました。

6 名で 6 試合出来ました。(参加者 石塚、滝来、田島、當間、野村、吉田 (劭))

5 月 21 日 (土) 運動公園 A コート、今日は風もなく、朝方は涼しく感じられ、過ごしやすい 5 月の 1 日です。

7 名もの参加者があり、活気あふれる定例会となりました。例によってミニテニス、ボレー、ストローク、サーブと準備運動で身体を暖め、早速試合に入りました。足を痛めている滝来さんに楽しんでもらおうと、4 ゲームで終わらせる様にして、ゲームを行いました。

この頃感じる事は皆さんのストロークのスピードが速くなった事です。歳をとるとスピードについていけなくなることが悔しいのです。今日は 7 名で 9 試合出来ました。充実した例会でありました。

(参加者 黒田、田島、滝来、當間昭、野村、吉田 (劭)、吉田勝) 以上

グローバルサロン英語の会

創立 20 周年記念早稲田大学国際学生寮

W I S H 見学会のおしらせ

(Waseda International Student House)

担当 小亀 輝雄



2014 年度にオープンした国際学生寮は、JR 中野駅近くにあり 11 階建の素晴らしい施設です。現在、ここで日本全国・世界各地から集まった約 900 名の学生が、共に学び生活しています。

学生寮の建設にあたっては多くの校友の支援がありましたが、当稲門会からもささやかながら 25 万円の寄付を行っています。

この度グローバルサロン英語の会主催で、この学生寮の見学会を下記の通り実施致します。見学会終了後 4 ～ 5 名の学生と学生寮内で、懇親の会も予定しています。英語の会以外の皆様のご参加も歓迎いたしますので、是非ご参加ください。

記

日 時 平成 28 年 6 月 26 日 (日)
13 時～15 時 (見学・懇親会)

集 合 12 時 30 分

JR 中野駅北口改札を出たところ
西武新宿線久米川駅、11 時 47 分 急行西武新宿行
(高田馬場から東西線利用が便利です)

費 用 茶菓代として 1,000 円

参加ご希望の方は、人数を把握するため 6 月 15 日までに下記にご連絡下さい。

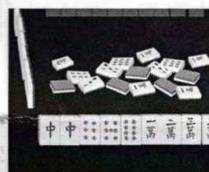
小亀輝雄 電話 042-394-6951

メール teru.yoshi.w55@jcom.home.ne.jp

麻雀同好会

世話人 阿部 茂

TEL 042-332-0298



第 72 回大会のご案内

日時 6 月 19 日 (日) 12:30 ～

場所 サロン「園」TEL 394-4444

会費 4,000 円

懇親会は希望者のみ別途実費にて、東村山駅近辺で実施。

締切 6 月 13 日 (月) までに阿部までご連絡ください。

3 卓を目指してリクルートに励む世話人です。

第 71 回大会の結果ご報告

3 月 20 日 (日) サロン「園」にて実施。小亀さんがなんと 10 回目の優勝を飾りました。老獪畏るべし!

参加者 : 阿部、池田、木野、小亀、滝川、田口、土橋、松永 (8 名)

パソコン同好会

世話人 小菅 宏 042-391-0219
福田昇七 042-391-9726

本庄～早稲田
100キロハイク応援
東村山稲門会

A クラス : Windows 10 への無料 アップグレードが 7 月 28 日に終了する前に Windows 10 アップグレードすることに決めました。万一手く行かない場合に備えて、現在の Windows 7 のシステム修復ディスク (DVD) の作成と外付け HDD にシステムイメージの作成を行いました。これで、上手くアップグレード出来なくても、現状に戻せるので安心です。

B クラス : ①最近、Windows 10 への無料アップグレードを自動的に行うようにする案内がパソコン画面に表示されます。その時の対処方法を確認しました。B クラスも Windows 10 のアップグレードを行う方向で調整中です。処理を間違えると、いつの間にか Windows 10 にアップされて困っているとの話がネット上で話題になっています。

②ワードにおける「テキストボックス」の使い方を繰り返し、勉強しました。上のタイトルのような表現が「テキストボックス」だけで可能です。また、複数のテキストボックスの整列方法も演習しました。

今回は 6 月 11 日 (土) 13 時～15 時 シルバー人材センターで行います。見学歓迎です。

参加者 : 下記以外にシルバー人材センターの講師 2 名がおります。

5 月 14 日 : A クラス : 三宅、月森夫人、小菅夫人。

B クラス : 山本、福田、當間、赤荻、紅松、高橋、小菅(講師)

5 月 21 日 : A クラス : 三宅、森本、小菅夫人。

B クラス : 山本、滝来、福田、當間、赤荻、吉田(叡)、紅松、小亀、高橋、小菅(講師)

カラオケ同好会



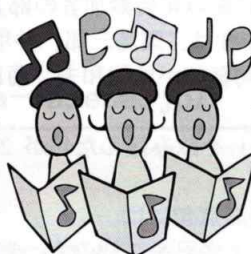
世話人 南湖 修一
TEL 042-390-2287

平成 28 年 5 月の例会は、5 月 7 日 (土) 午後 7 時半から、いつもの久米川カラオケランド・ズーで行われました。吉田劭文さん、池田さん、山本さん、波多野さん、小松原さん、井垣さん、南湖の 7 名が集まり、和やかなうちに各々の得意な歌を楽しみました。

7 月例会は、7 月 9 日 (土) 久米川駅周辺のカラオケランド・ズーで午後 7 時から行います。会員ならどなたでも大歓迎です。ぜひご参加ください。

音楽同好会

世話人 市川彰彦 TEL 042-308-8181



5 月 31 日 (火) 懐かしい恩多ふれあいセンターで音楽同好会の例会を行いました。

そこで歌われた曲をベースにして 6 月 16 日 (木) 時間は未定・多摩すずらん(養護施設)で歌います。以下曲目は「稲門会の歌」

「花は咲く」四季の歌「遥かな友に」「夜明けの歌」「山小舎の灯」「この道」「あざみの歌」「夏は来ぬ」「みかんの花咲く丘」「茶摘み」「バラが咲いた」「野薔薇シューベルト・ウェルナー」「庭の千草」「手のひらを太陽に」「おもちゃのチャチャチャ」「今日の日はさようなら」など。今後 ボランティア活動として養護施設へ活動の場を広げるとか、皆さんの意見を持っています。

またピアノ伴奏を高橋文子さん、オカリナ、ギター、ハーモニカなど私、市川が精一杯頑張りますが、皆さんの中で今楽器を始めた方は私にご連絡ください。オカリナやギターの演奏の初歩をお手伝いいたします。また例会で音楽にまつわる話をする方も大歓迎です。

郷土史の会

世話人 阿部茂 (042-332-0298)

全生園・国立ハンセン病資料館見学

今回は全生園・国立ハンセン病資料館を見学、「語り部」さんの講演ビデオを視聴し、館内を見学します。(語り部さんの体調不良により、講演ビデオの視聴となりました。)

今年のお花見を実施したところで、直接行ったほうが早い方は現地集合でかまいませんが、バスを利用する方は停留所を間違えないよう、ご注意願います。

久米川方面から停留所名が全生園前、全生園角、全生園南と続き、その次の「ハンセン病資料館」で下車します。

資料館に団体見学の予約をしてあり、下記時間での視聴となりました。

13:00-13:40 ガイダンス映像「終の向こう側」視聴

13:40-14:35 語り部佐川修さんの

講演ビデオ(55 分)視聴

14:35 ～ 展示見学

11 名以上の参加が必要なので、ご面倒でも阿部まで事前の参加の申し込みをお願いいたします。電話 (042-332-0298)、メール (sige2288@gmail.com) 等、何でも構いません。

日時 : 6 月 22 日 (水) 12:30

集合場所 : 久米川駅北口 (12:32 発、清瀬駅南口行のバスに乗ります。)

その他 : 雨天決行とします。

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣和太 04-2924-2934



第86回「稲酔」俳句会は、6月25日(第四土曜)14:00～久米川駅傍「丸藤」1階で開催いたします。
(※先月号の当記事の句会参加者の部分が手違いで誤っておりました。)

5月の句会参加者は、栗島三郎、井垣稲雀、出田麦穂、幸田瑞雄、黒田柿黒、高部糸行、波多野敏治の計7名。投句参加が風間和夫、菊田一平、小亀稲生、八木竜湖、山下波雲の5名。計12名の連衆でした。

出句60句のうち、兼題「春昼」を詠み込んだ句が29句と半数を占めるといふこれまでにない課題吟への挑戦意欲の旺盛さが見られました。

参加12名による互選の結果、最高点句には、

春昼や茶柱の立つ妻の留守 敏 治

が、選ばれました。次回の兼題は「蟻」(蟻の道、蟻の列、蟻の塔)。蟻を眺めていますと飽きませんよね。気の付いたこと、心に浮かんだこと、17文字に託した名句誕生をお待ちしています。

俳句を嗜む人は長生きすると言われています。あなたも参加しませんか。お待ちしております。

(稲雀 記)

俳壇

歳時記の付箋びつしり麦の秋 幸田 瑞雄
 碧霞む富士を浮かせて大夕焼 小亀 稲生
 ママチャリに二人の園児初夏の風 高部 糸行
 万緑の松代の山壕の跡
 わが庭で隣の子猫あはれおる 波多野 敏治
 老々や庭の新緑持て余す
 菖蒲湯や父懐かしき宵もあり 八木 竜湖
 老い一人遠く眺むる荒神興
 澄む代田面対称の立ち話 山下 波雲
 エンジンをつけて立つ畦花あざみ
 新緑の大地遙けし古墳群
 つばくろや伊賀の上野に句碑いくつ 栗島 三郎
 メーデーや旗振る戦士で在りしころ
 初夏の風すこし若やぐ老の肌 井垣 稲雀
 小でまりが百花の庭を鎮めおり
 吾よりも遙か老樹の若緑 出田 麦穂
 靄晴れて新緑映ゆる真田郷
 松代の地下壕冷ゆる五月闇 風間 和夫
 木の芽道登山電車の軋む音
 パーティーの乾杯のどか春の昼 菊田 一平
 夏を病む象のはな子も飼育係も
 亀五月風に首伸し甲羅干し 黒田 柿黒
 もう少し歌の未熟なほととぎす
 大口と鳴き声競う燕の子

同好会等 短期予定表

同好会・行事	6月					7月					世話人 (問合せ先)	
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考		
ウォーキングの会	—	—	—	—	—	24	日	*	*	—	高橋正	042-309-3407
郷土史の会	22	水	12:30	久米川駅北口	—	—	—	—	—	—	高橋正	042-309-3407
テニス同好会	6	月	9:00~13:00	運動公園コートC	—	4	月	9:00~11:00	運動公園コートE	—	野村茂	042-393-7036
	8	水	13:00~15:00	運動公園コートA	予備日	10	日	15:00~17:00	運動公園コートE	—		
	27	月	9:00~13:00	運動公園コートA	—	18	月	9:00~13:00	運動公園コートE	—		
	29	水	9:00~11:00	運動公園コートD	—	27	水	15:00~17:00	運動公園コートA	予備日		
囲碁同好会	18	土	13:00~	市民センター別館	—	—	—	—	—	—	福田晃	042-394-0593
カラオケ同好会	4	土	19:00~	カラオケランドズー	—	9	土	19:00~	カラオケランドズー	—	南湖	042-390-2287
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
園芸の会	17	金	11:00~	小石川後樂園	—	—	—	—	—	—	當摩	042-396-3033
麻雀同好会	19	日	12:30~	サロン「園」	—	—	—	—	—	—	阿部	042-332-0298
音楽同好会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	市川	042-308-8181
俳句同好会	25	土	14:00~	「丸藤」2階	—	—	—	—	—	—	井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	紅松	042-393-6924
グローバルサロン英語の会	14	火	14:00~16:30	市民センター2階	—	19	火	14:00~16:30	市民センター2階	—	滝川正	042-394-8187
早稲田スポーツ広場の会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大内	042-393-6543
パソコン同好会	11	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	2	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅	042-391-0219
	18	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	16	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会		
雑学講座	4	土	15:30~17:30	サンパルネ	—	—	—	—	—	—	當間	042-391-6023

編集後記 : 今月号は記事の量が非常に多く、読みにくくなってしまいました。ご容赦下さい。

次号の締め切りは6月25日(土)です。皆様、ふるって投稿下さい。

FAX : 042-396-5698 email : teruo_tohma@ozzio.jp

(當摩 照夫 記)